

ESCO 事業について

0 ESCO とは

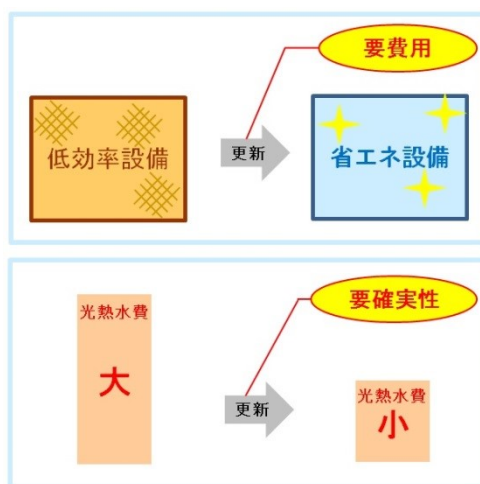
ESCO とは、Energy Service Company の略であり、**省エネルギー化の為の改修工事**（以下、「省エネルギー改修」という）を行い、これに要する費用を改修後の**光熱水費の削減額等で賄う事業**のことです。一般的な省エネルギー改修と大きく違うところは、改修後の**省エネルギー効果を ESCO 事業者が保証する**という点にあります。

ESCO 事業者は、省エネルギー診断、設計・施工、運転・維持管理、資金調達などすべてのサービスを提供します。さらに、省エネルギー効果を ESCO 事業者が保証し、万が一効果が不足した場合には、ESCO 事業者が不足分を補填します。

1 背景

設備機器は経年劣化に伴い、効率が低下し、運用には多大なエネルギーが必要になります。また、近年は省エネルギー性能の高い機器が製造されており、設備改修を行うことで光熱水費の低減が期待できます。

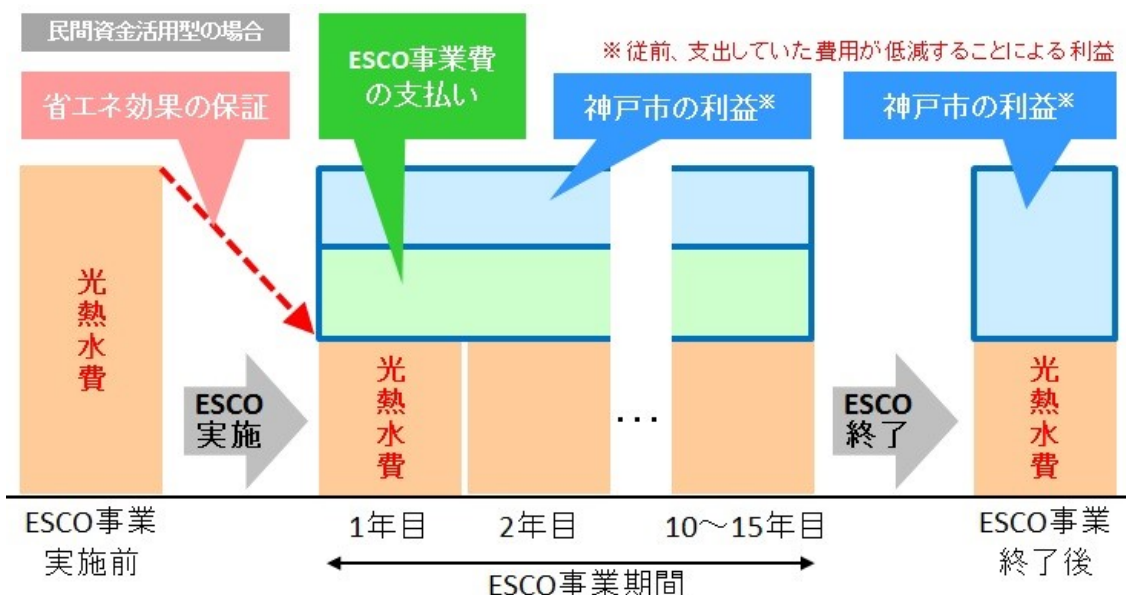
しかし、一般的な省エネルギー改修には、**多大な費用と、確実な省エネルギー効果**が求められます。



2 ESCO 事業の利点

① 新たな費用負担を必要としない省エネルギー化の促進

省エネルギー改修で実現する光熱水費の削減分で、全ての費用（建設費、金利、ESCO 事業者の経費）を賄います。（ESCO 事業者による資金調達を活用する場合には、事業開始初年度から、**従来の光熱水費支出以上の経費負担が発生しません。**）



②省エネルギー効果の保証

ESCO 事業者が水光熱費の削減を保証するので、事業計画の安定性、信頼性が確保されます。

③包括的サービスの享受

ESCO 事業者は、改修計画を立案した後、施工、運転・維持管理などを一括して請け負います。更に、ESCO 事業に係る資金調達や、事業収支計算など、財務面の計画も行いますので、省エネルギー改修にかかわるすべてのサービスを包括的に受けることができます。

④省エネルギー効果の計測・検証

光熱水費の削減額を保証するためには、計測と結果の検証が不可欠です。ノウハウをもった ESCO 事業者による計測・検証体制が確保できます。更には、定期的に設備の稼働状況や省エネルギー効果の確認を行うため、期待される省エネルギー効果を持続することが可能になります。

⑤サービス期間終了後

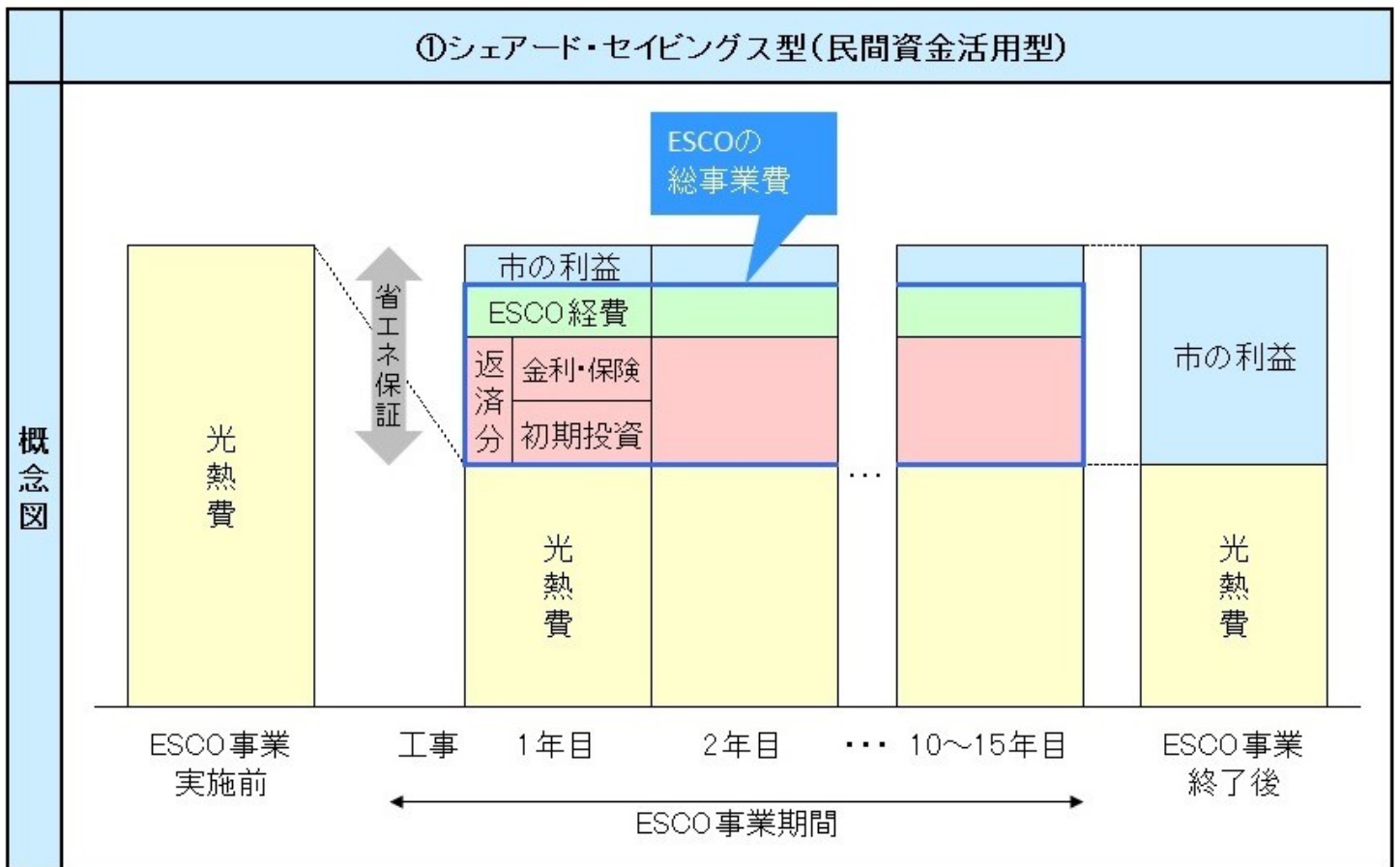
サービス期間終了後は、省エネにより削減することができた光熱水費は全て市の利益となります。

3 ESCO 事業の契約形態

①シェアード・セイビングス型（民間資金活用型）

省エネルギー改修にかかる**初期費用を ESCO 事業者が行い**、併せて省エネルギー効果も保証します。事業期間中は省エネ改修工事で導入した設備機器は ESCO 事業者の資産となります。神戸市として**初期投資は不要**です。

※サービス期間終了後は、省エネ改修工事で導入した設備機器は市に無償譲渡されます。



②ギャランティード・セイビングス型（自己資金型）

省エネルギー改修工事にかかる**初期費用を市が負担**し、ESCO事業者は省エネルギー効果を保証します。省エネ改修工事で導入した設備機器は自己資産となります。神戸市として**初期投資が必要**です。

